

令和4年度の教育に関する
事務の点検及び評価報告書

令和5年12月

糸魚川市教育委員会

目 次

Ⅰ	教育に関する事務の点検及び評価の実施概要		
	1	点検と評価の趣旨	… 1
	2	点検及び評価の方法	… 1
	3	学識経験者の知見の活用	… 2
Ⅱ	教育委員会の運営及び活動状況		
	1	教育委員会の構成	… 3
	2	教育委員会会議開催状況	… 3
	3	総合教育会議	… 3
	4	教育委員会の主な活動状況	… 3
Ⅲ	施策の点検・評価		
	第1	子どもを産み育てやすい環境の整備	
		1	妊娠出産支援と親子の健康増進 … 5
		2	子育て支援の充実 … 11
		3	子どもと子育てにかかわる連携の推進 … 16
	第2	0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進	
		1	就学前教育の充実 … 18
		2	質の高い学校教育の推進 … 21
		3	学校教育環境の整備 … 28
	第3	生涯学習の振興	
		1	社会教育の振興 … 31
		2	スポーツの振興 … 39
	第4	文化の振興	
		1	芸術文化の振興 … 43
		2	歴史・文化の継承と活用 … 48

I 教育に関する事務の点検及び評価の実施概要

1 点検と評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

糸魚川市教育委員会では、教育に関する事務の点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に対する市民の信頼の向上を図ります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価は、糸魚川市教育委員会が執行している事務・事業のうち、「第 3 次糸魚川市総合計画 基本計画」に掲げた施策を中心に行いました。

(2) 点検及び評価の方法

評価の実施方法については、「第 3 次糸魚川市総合計画 基本計画」の中で

掲げる指標の達成状況や、対象年度の取組内容などを踏まえながら、各事業を3段階で評価し、評価理由と今後の課題解決に向けた取組について示し、点検及び評価を行いました。

評価	評価基準
順調	目標のとおり達成した、又は、計画どおり進んでいる。
おおむね順調	おおむね目標を達成した、又は、目標達成に向け進んでいる。
遅れている	目標を下回った、又は、計画に遅れが生じている。

3 学識経験者の知見の活用

法の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する方からの知見の活用として、協議会を開催して、施策の取組に関する総合的な評価としてご意見をいただき、今後の取組に活用しています。

教育委員会協議会の開催

日 時：令和5年9月22日 午前9時30分～午後5時

会 場：糸魚川市役所 201・202 会議室

学識経験者：高橋 守 氏

教 育 長：蘆本 修一

教 育 委 員：谷口 一之 齊藤 里沙

山本 修 楠 愛

事 務 局：教育次長、こども課長、こども教育課長、生涯学習課長、
文化振興課長

II 教育委員会の運営及び活動状況

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行します。定例会や臨時会のほか、協議会を開催しています。

1 教育委員会の構成

令和5年3月31日現在

職名	氏名	任期
教育長	鶴本 修一	令和4年1月1日～令和6年12月31日
教育委員 (教育長職務代理者)	谷口 一之	令和4年5月20日～令和8年5月19日
教育委員	塚田 京子	令和元年5月20日～令和5年5月19日
教育委員	齊藤 里沙	令和3年5月20日～令和7年5月19日
教育委員	山本 修	令和3年8月30日～令和6年5月19日

2 教育委員会会議開催状況

定例会を12回、臨時会を3回開催し、議案73件、報告34件、協議2件について審議等を行いました。議案73件の内訳は、人事案件38件、予算に関する意見の申出8件、条例・規則等の改正19件、その他8件となっています。

また、協議会を開催し、令和3年度の教育に関する事務の点検及び評価を行いました。

3 総合教育会議

市長と教育委員会が協議あるいは調整を行う場として「総合教育会議」が開催されました。下記議題等について協議し、意見交換を行いました。

開催年月日	会場	議題等
令和5年2月15日	市役所庁議室	第1回 ・教職員等の働き方改革について ・生活リズム改善について

4 教育委員会の主な活動状況

(1) 教育関係会議への出席

- ・全県教育長会議（新潟市：4月13日）

- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（佐渡市：5月23日）【Zoom開催】
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（妙高市）【書面決議】
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（魚沼市：10月21日）
- ・市町村教育委員会研究協議会（群馬県前橋市：11月10日～11日）
- ・上越地方三市教育委員会連絡会総会（糸魚川市）【中止】

(2) 学校等訪問

- ・6月28日 木浦小学校（統合に関する確認書調印式と同日）
- ・7月1日 田沢小学校、青海中学校、青海小学校
- ・7月4日 根知小学校、大野小学校、ひすいの里総合学校、糸魚川小学校
- ・7月6日 能生小学校、下早川小学校、糸魚川東中学校
- ・7月14日 大和川小学校、西海小学校、糸魚川東小学校、糸魚川中学校
- ・7月15日 磯部小学校、中能生小学校、南能生小学校、能生中学校

(3) 式典等への出席

- ・4月1日 転入、新採用教職員辞令交付歓迎式
- ・4月1日 教育委員会年度始めの式
- ・4月27日 海洋高校「意見・体験発表会」
- ・6月28日 木浦小学校統合に関する確認書調印式
- ・6月29日 教育懇談会
- ・8月18日 押上×総合探究プロジェクト発表会
- ・10月7日 キャリアフェスティバルいといがわ
- ・10月22日 根知小学校創立50周年記念式典
- ・10月29日 ひすいの里総合学校創立10周年記念式典
- ・10月30日 木浦小学校120周年・閉校記念式典
- ・11月1日 市小・中・特別支援学校音楽発表会
- ・11月4日 ヒスイ県石指定記念式典
- ・11月15日 ジオパーク学習交流会
- ・12月22日 糸魚川高校探究学習発表会
- ・1月27日 白嶺防災フォーラム
- ・3月25日 木浦小学校閉校式・惜別の会

※ 市立学校入学式及び卒業式は、新型コロナウイルス感染防止のため
来賓出席なし

(4) 先進地等の視察

- ・12月20日 市外視察研修（十日町市児童センター、十日町情報館(図書館)）

Ⅲ 施策の点検・評価

第1 子どもを産み育てやすい環境の整備

1 妊娠出産支援と親子の健康増進

- (1) 安心して出産・育児ができる環境づくり
- (2) 子どもと保護者の健康の増進

【基本方針】

安心して出産、育児ができる環境を整えるとともに、生涯を通じた健康づくりの土台を幼少期までに定着させ、子どもと保護者の健康増進を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
市内病院出産割合	49.3%	55.0%	60.0%
健康状態がよい中学生の割合	91.9%	86.0%	88.0%

2 施策の方向

(1) 安心して出産・育児ができる環境づくり

- 関係機関と連携して、安心して出産できる医療環境を整えます。
- 乳幼児健康診査等で保護者の育児不安をつぶさに把握し、支援が必要な親子には継続的に関わるなど、保護者に寄り添った支援に努めます。
- マタニティスクール、育児教室、相談会等を開催するほか、個別の訪問を行い、保護者の気持ちに寄り添った相談体制を整えます。
- 発達段階に応じた愛着形成の大切さについて啓発します。また、温かい心での子どもの見守りとしつけを地域ぐるみで進めます。
- 妊娠・出産を希望する夫婦が安心して不妊・不育治療等を受けられるよう、精神的負担や経済的負担の軽減に努めます。

(2) 子どもと保護者の健康の増進

- 乳幼児健康診査の高い受診率を維持し、疾病の早期発見や健康の保持増進に努めます。
- 発達障害の可能性のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげます。
- 「早寝早起きおいしい朝ごはん運動」を推進し、幼少期から生活リズムを定着させ、生涯を通じた健康づくりにつなげます。

- 家庭ぐるみの食生活や生活リズムの改善に取り組みます。
- 親子での調理体験等を通じて「食」への関心を持つ子どもを育てます。
- 子どもの心身の健康に欠かせない外遊びやふれあい遊びなどの体験を積極的に推進します。
- 電子メディアに頼らない子育てによって、コミュニケーション能力、運動能力、自己コントロール能力を育むよう努めます。
- 関わりが不可避な電子メディアについて、家庭での幼少期からの適切な使用を促します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 妊娠アシスト事業

妊娠届出時の面接相談や、各種マタニティスクールを実施し、出産や育児に関する知識や技術を身に付け、安定したマタニティライフを送ることができるように取組を行っています。

さらに、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠から出産後までの切れ目のない支援の仕組みづくりを進めています。

また、不妊症治療・不育症治療に伴う治療費の一部助成を行い、経済的負担の軽減に努めます。

【妊娠アシスト事業の利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
パパマママタニティスクール参加者数	63人	52人
不妊症治療費助成件数（うち妊娠成立件数）	42件(16件)	35件(9件)

(2) 親子の絆応援事業

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談、すくすく赤ちゃん広場を開催し、具体的な育児方法の助言等を行っています。

中学生を対象に産婦人科医師、助産師を講師とした性教育を実施し、生命誕生の奇跡や命の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和3年度	令和4年度
母乳育児率（4か月未満児）	44.0%	46.0%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 105人	延 161人
正しい性教育普及事業	延 329人	延 312人

(3) 妊産婦支援事業

妊産婦とその家族が安心して出産・育児ができる環境づくりのため、様々な支援を行っています。

妊娠中や出産・育児に関する不安など妊産婦の気持ちに寄り添う相談支援、また、産前産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業を利用し、身体的・精神的負担の軽減を図るなどの支援を行います。

また、妊産婦健康診査費用助成事業や妊産婦医療費助成事業など経済的負担の軽減も行います。

【産後の支援の現状】

区分	令和3年度	令和4年度
産後1か月程度、助産師等からのケアを十分に受けることができたと感じる割合	95.1%	96.9%

(4) 乳幼児すこやか事業

乳幼児健診等を通じて子どもの心身の健康状態の確認及び生活改善を図り、子どものすこやかな成長と、保護者が安定した育児を行えるよう支援しています。

発達障がいの可能性のある子どもを早期に発見し、適切な支援につなげられるよう、5歳児（年中児）発達相談会を実施しています。

歯科健診におけるむし歯の早期発見、幼児を対象としたフッ化物塗布及び市内幼児・小中学生を対象としたフッ化物洗口の実施等により、むし歯予防に努めています。

【乳幼児すこやか事業の状況】

区分	令和3年度	令和4年度
3歳児健診受診率 ※1	102.1%	96.7%
5歳児（年中児）発達相談会利用者割合	22.4%	18.5%
中学生一人平均むし歯本数	0.46本	0.10本

※1 前年度未受診者を含む。

(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業

妊娠期から就園まではマタニティスクールや乳幼児健診において、就園児や小学生は健康教室の開催や生活リズム改善の家庭学習を通じて、妊娠期からの一貫した取組を推進しています。特に、9歳までの規則正しい生活リズム定着に重点をおいています。

また、親子の健康づくりとして、早寝早起きおいしい朝ごはん事業の市民への周知と取組の充実を図るため、市民公開講座を隔年ごとに開催しています。

【生活リズムの現状】

区分	令和3年度	令和4年度
① 21時30分までに布団に入る割合 (小学1～3年生)	68.7%	71.1%
② 朝ごはん3品以上の割合 (小学1～3年生)	72.1%	73.8%
③ 電子メディア総使用時間2時間以内の割合 (小学1～3年生)	54.5%	54.7%

* 9歳までに生活リズムを身につける目標のため小学1～3年の数値を掲載した。

(6) 親子食育推進事業

妊娠期から「おいしい朝ごはん(おかずのある朝ごはん)」の重要性を啓発し、幼児期以降は、親子キッズ・キッチン等の調理体験を通じ、「食」への関心が高まるよう努めています。また、各種教室や個別栄養相談等を実施し、栄養バランスのとれた食生活の実践について支援を行っています。

【食育推進事業の状況と園児の肥満出現率】

区分	令和3年度	令和4年度
乳幼児食事指導参加者数	959人	894人
ステップアップ離乳食講座参加者数	45人	34人
ハッピー育児会参加者数	38人	41人
親子キッズ・キッチン参加者数	336人	438人
キッズ・キッチン満足度	96.6%	99.3%
園児の肥満出現率	6.3%	4.8%

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 妊娠アシスト事業	評価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パパマママタニティスクールは昨年度より参加者数は減少していますが、初産婦の参加率は上昇しており、妊婦だけでなく家族で出産や育児について学ぶ機会となりました。 ・ 妊娠から出産後までの切れ目のない支援のために、妊娠後期に電話で妊娠・出産に関する必要な情報提供を行い、安心して出産を迎えられるよう、不安や心配が軽減するような相談に努めました。 		

(2) 親子の絆応援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を行うことで、母乳育児率は昨年度より上昇しました。 ・ すくすく赤ちゃん広場や正しい性教育普及事業の開催により、幅広い世代の方に愛着形成の重要性を理解していただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も愛着形成の重要性について周知し、親子の絆が深まるよう、訪問や各種教室・相談事業に取り組みます。 		
(3) 妊産婦支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産前産後ヘルパー派遣事業の利用人数は徐々に増加してきており、利用時間数も増加傾向にあります。 ・ 令和3年度からは母乳相談費用助成、令和4年度からは産後ケア事業（訪問型）や出産時タクシー費用助成、出産前宿泊費助成など新しい助成制度も整備されてきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産後の身体的・精神的不安軽減のため、産後ケア事業において日帰り型や宿泊型の実施に向けた取組を行います。 		
(4) 乳幼児すこやか事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健康診査は、高い受診率を維持しています。また、令和4年度から視覚異常の検出精度向上（弱視予防）のために、3歳児健康診査に屈折検査機器を導入しました。 ・ 発達支援では、5歳児（年中児）発達相談会などを希望する保護者ニーズに対応できています。 ・ 健康教室等での歯・口腔の健康に対する意識啓発、フッ化物塗布及びフッ化物洗口の実施により、むし歯有病率及び一人平均むし歯本数は低い水準を維持しています。 		
(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康教室や家庭での取組等により一定の水準を維持しています。また、幼稚園・保育園、小中学校など関係機関と連携することにより、規則正しい生活リズムが定着してきています。 		

(6) 親子食育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッズ・キッチンは、令和4年度から親子キッズ・キッチンとし、保護者も調理に参加する形に一部変更しました。アンケート結果から高い満足度を維持しています。 ・ 園児の肥満出現率は、昨年度に比べ減少していますが、高度肥満の園児も見受けられる現状です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健診や食育教室等で栄養バランスのとれた食生活について普及啓発し、肥満園児の保護者に対しては、将来の生活習慣病を予防するため、個別栄養指導を実施しています。 		

2 子育て支援の充実

- (1) 子育て家庭を支える取組の推進
- (2) 保育サービスの充実
- (3) 子育てと仕事の両立支援
- (4) 地域で担う子育て支援

【基本方針】

多様なスタイルの子育てと仕事が両立でき、子育て世代が、子育てに希望と自信を持って子どもを産み育てたいと思えるよう支援し、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育て環境の満足度	33.9%	60.0%	70.0%

2 施策の方向

(1) 子育て家庭を支える取組の推進

- 育児相談や子育てサークルの支援等の中心となる子育て支援センターの事業内容を充実するとともに、子育て世代の居場所の充実を図ります。
- 発達支援センターめだか園では、発達や成長に不安のある子どもと保護者に対する適切な相談や支援を行い、子どもの発達を促します。
- 虐待等の発生予防や早期発見に努め、子どもに関する様々な相談に適切に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心に継続的に必要な支援を行います。
- 保育料の軽減や子ども医療費の助成などにより、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ります。

(2) 保育サービスの充実

- 需要が増加している0～2歳の保育の場を確保するため、既存の保育園に加え、認定こども園や地域型保育事業等、多様な選択ができる環境整備を進めます。
- 一時保育や時間外保育、病児・病後児保育等、個々の要望に柔軟に対応できるよう、事業の拡充を図ります。より、子育てに係る保護者の経済的負担の軽減を図ります。

(3) 子育てと仕事の両立支援

- 育児をしながら働く保護者への育児支援の各種サービスの充実を図るとともに、事業所に対して子育て世代に配慮した就労環境の整備を働きかけます。

- 男性への育児の関わりや、子育てと仕事を両立する女性への理解を呼びかけます。

(4) 地域で担う子育て支援

- 子育てに関する様々な援助を求める世代と援助できる世代間の交流拡大を図り、地域全体で子育て中の家庭を支える体制や子育てしやすい環境整備を推進します。

3 事業内容（主要事業）

(1) 子育て支援センター運営事業

未就園児とその保護者にとっての交流の場として機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
利用者数	6,652人	7,547人
相談件数	3件	3件

(2) 子ども医療費助成事業

0歳から高校卒業年齢までの子どもの医療費を助成しました。

※一部負担金（保護者負担額）：通院・調剤530円／日（同月同一医療機関5回目以降は無料）、入院無料

【子ども医療費助成の実施状況】

区分	令和3年度	令和4年度
助成件数	51,389件	51,500件
助成給付額	114,065,551円	119,950,172円

(3) 特別保育事業

・一時保育事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児（未就園児）を対象に、1日単位で利用できる保育を実施しました。

【一時保育の年間利用児童数】

区分	令和3年度	令和4年度
公立保育園（2園） 中央、寺地	420人	292人

私立保育園（5園） はやかわ、いくみ、能生、おひさま、ひまわり	671人	876人
合計	1,091人	1,168人

(4) 休日お助け保育事業

就労等により、保護者が休日に家庭で保育できない場合に、ヴィラオレッタキッズランドで保育を実施し、保護者に対してその費用の一部を助成しました。

【休日保育の年間利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
利用日数	89日	128日
総利用者数	354人	313人

(5) 病児保育事業

育児と仕事の両立支援のため、生後6か月から小学6年生までの児童で、病期中または病気の回復期にあつて、家庭での保育ができない児童を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しました。

【病児・病後児保育の年間利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
延利用児童数（病児・病後児）	506人	429人

(6) 学童保育事業

仕事等で昼間保護者のいない家庭の小学生を対象に、市内9か所の放課後児童クラブ室を開設し、放課後などに遊びを中心とした活動で子どもたちを育成し、安全で安心な生活の場を提供しました。

【学童保育の年間利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
登録児童数	514人	527人
延利用児童数	39,228人	38,259人

(7) ファミリーサポートセンター事業

地域全体で子育てをサポートする取組として、会員の募集に努め、事業を実施しました。

【ファミリーサポートセンターの利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
提供会員	24人	18人
依頼会員	36人	40人
年間活動回数	105回	52回

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子育て支援センター運営事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えていますが、コロナ禍での予約制をやめたことで利用者は回復傾向です。 		
(2) 子ども医療費助成事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象となる範囲を順次拡大してきており、市民の満足度は高いと捉えています。通院費についても、令和5年10月から無料化します。 		
(3) 特別保育事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保育事業の利用者数はほぼ横ばいとなっており、保護者ニーズに対応しています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の多様なニーズに対応できるように、引き続き事業の周知を図ります。 		
(4) 休日お助け保育事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 週末に、家庭で親子が一緒に過ごす時間が増えたこと等により、利用者数は前年度より減少しています。 		
(5) 病児保育事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数の変動に応じ、国の交付金に加算して安定運営のための市独自の補助を実施しており、適切に運営しています。 		
(6) 学童保育事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事と子育ての両立を支援する制度として利用者数も堅調であり、設備面での充実も図りながら進めています。 		

(7) ファミリーサポートセンター事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員数は横ばいとなっており、特定の会員のみが利用する傾向があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子育て世帯を支えるために有効な事業であることから、事業周知を図り、会員・利用率の増加に努めます。 		

3 子どもと子育てにかかわる連携の推進

- (1) 子ども・子育て支援体制の充実
- (2) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進
- (3) 課題を抱える家庭への連携した対応

【基本方針】

子どもにかかわる機関の連携を図り、一貫した教育方針と切れ目のない支援で子どもを育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
子育てをする上で気軽に相談できる人がいる割合	90.3%	95.0%	97.0%

2 施策の方向

(1) 子ども・子育て支援体制の充実

- 市民が子育てについて理解と認識を深め、家庭、地域、幼稚園・保育園、学校等が相互に協力し、地域社会が一体となった子育てを推進します。

(2) 幼稚園・保育園、小・中・高等学校の交流と連携の推進

- 関係機関が情報を共有し、共通理解を深め、切れ目のない支援に取り組みます。
- 園から小学校への円滑な接続のためのカリキュラム編成や実践への取組、中学生の保育実習など、幼稚園・保育園、学校の一層の連携と協力を推進します。

(3) 課題を抱える家庭への連携した対応

- 関係機関との情報共有と連携により、個々の家庭環境に応じた支援を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1) 子ども一貫教育推進事業

【教育懇談会の開催状況】

通算回数 (実施日)	テーマ・演題・講師	対象者
第23回 (6月29日)	○講演 演題「心豊かなメディアの利活用を考える」 上越教育大学 教授 清水 雅之 氏 ○パネルディスカッション テーマ「現行のメディアルールの下で、園・学校、家庭が連携し、iPadの利活用等を含	保・幼・小・中・高の保護者、教職員の代表、学校運営協議会委員、市役所職員

	<p>めたメディアのルール作りを、どのように進めたらよいか。」</p> <p>コーディネーター：清水 雅之 氏</p> <p>パネリスト：保護者代表 2 人、教員代表 2 人、教育委員会代表 2 人</p> <p>○ご指導</p> <p>東海大学 特任教授 田中 統治 氏</p>	
<p>第24回 (2月3日)</p>	<p>○発表</p> <p>「探究的な学びの充実を目指して ～高校魅力化事業の取組から～」</p> <p>糸魚川市教育委員会事務局こども課 課長 嶋田 猛</p> <p>高校魅力化コーディネーター 3 人</p> <p>○講演</p> <p>「探究し続ける・学ぶ力を考える ～子ども一貫教育方針の継承～」</p> <p>東海大学 特任教授 田中 統治 氏</p>	<p>保・幼・小・中・高の保護者、教職員の代表、学校運営協議会委員、市役所職員</p>

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。 教育懇談会では、講演や発表、パネルディスカッションを通して、メディアの利活用や高校魅力化事業について理解を深めることができました。教育懇談会終了後のアンケートでは、肯定的な意見が多く寄せられました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの電子メディアの接触時間増加が、健全な成長に与える影響について、あらゆる機会を通じ、一層の周知を図ります。 アンケート調査結果から地域住民に対する子ども一貫教育の周知不足が、課題として明らかになりました。子ども一貫教育の周知方法の工夫とともに、園・学校、地域、保護者との連携を密にした取組を今後も拡充していきます。 		

第2 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

1 就学前教育の充実

- (1) 家庭教育の充実・強化
- (2) 乳幼児教室の充実

【基本方針】

愛着形成の重要性を家庭と共有し、より良く生きるための基礎を育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
1日1回は、自分の子をほめる保護者の割合(4～6歳)	99.4%	99.0%	100.0%
子どもとふれあう努力をしている親の割合(4～6歳)	70.4%	70.0%	80.0%

2 施策の方向

(1) 家庭教育の充実・強化

- 講演会、乳幼児健康診査などを通して、子育ての土台となる親子の愛着形成、自己肯定感を育む子育てを啓発します。
- 2か月児訪問や子育て支援センターでの積極的な声かけなどで、保護者の不安や悩みの把握に努め、解消を図ります。

(2) 乳幼児教室の充実

- 愛着形成の重要性を共有し、家庭、地域と連携した教育を推進します。
- 幼稚園・保育園での遊びを中心とした生活を通して、発達に応じたきめ細やかな支援により、豊かな感性や道徳性、課題を解決する力の育成を図ります。

3 事業内容(主要事業)

(1) 子ども一貫教育推進事業【再掲】

糸魚川市子ども一貫教育方針の中から家庭でできる子育ての方法やヒントを子どもの年齢別にまとめた「子育て応援BOOK」を作成し、「0～3才版」については2か月児訪問、「4～6才版」は幼稚園・保育園の入園の際などに配布しています。

また、各幼稚園・保育園での健康教室も開催し、糸魚川市子ども一貫教育方針における家庭の役割について理解を深めました。

(2) 子育て支援センター運営事業【再掲】

未就園児とその保護者にとっての交流の場として機能を果たし、育児相談がしやすい環境となるよう努めました。

【子育て支援センターの利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
利用者数	6,652人	7,547人
相談件数	3件	3件

(3) 親子の絆応援事業【再掲】

0歳からの愛着形成推進のため、2か月児訪問、おっぱい相談及びすくすく赤ちゃん広場を開催し、具体的な育児方法の助言等を行っています。

中学生を対象に産婦人科医師及び助産師を講師とした性教育を実施し、生命誕生の奇跡や命の大切さについて学ぶ機会を提供しています。

【母乳育児率及び愛着形成事業参加者数】

区分	令和3年度	令和4年度
母乳育児率（4か月未満児）	44.0%	46.0%
すくすく赤ちゃん広場参加者数	延 105 人	延 161 人
正しい性教育普及事業	延 329 人	延 312 人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 子ども一貫教育推進事業【再掲】	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">2か月児訪問時や幼稚園・保育園の保護者会などの機会をとらえて、子育て応援BOOKを配付し、家庭と園で共通理解のもと、子育てを行う仕組みづくりを進めました。 【課題解決に向けた取組】 <ul style="list-style-type: none">子どもの電子メディアの接触時間増加が、健全な成長に与える影響について、あらゆる機会を通じ、一層の周知を図ります。		
(2) 子育て支援センター運営事業【再掲】	評価	順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none">共働き等で早期に保育園へ預ける保護者が増えていますが、コロナ禍での予約制をやめたことで利用者数は回復傾向です。		

(3) 親子の絆応援事業【再掲】	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月児訪問やおっぱい相談等で母乳育児支援を行うことで、母乳育児率は昨年度よりも上昇しました。 ・ すくすく赤ちゃん広場や正しい性教育普及事業の開催により、幅広い世代の方に愛着形成の重要性を理解していただきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も愛着形成の重要性について周知し、親子の絆が深まるよう、訪問や各種教室・相談事業に取り組みます。 		

2 質の高い学校教育の推進

- (1) 確かな学力の育成
- (2) いじめや不登校のない学校づくりの推進
- (3) ジオパーク学習等による郷土愛の醸成
- (4) キャリア教育の推進
- (5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実
- (6) 高校の魅力化推進

【基本方針】

家庭、幼稚園・保育園、学校、地域が連携して、自立して生きる力を身につけた子どもを育てます。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
標準学力検査の平均の偏差値（小学校）	50.8	53.0	54.0
標準学力検査の平均の偏差値（中学校）	48.9	51.5	52.0

2 施策の方向

(1) 確かな学力の育成

- 学校と家庭が連携し、日々の授業改善や家庭学習習慣の定着によって、全国標準を常に上回る学力の定着を図ります。
- 児童生徒の実態に応じたきめ細やかな学習指導のため、人的配置等の必要な支援を実施します。

(2) いじめや不登校のない学校づくりの推進

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのため、児童生徒の思いやりの心と、自ら考え行動する自主性を育む活動を推進します。
- 家庭や地域と連携して、地域全体で規範意識や自己有用感の向上、人間関係づくりの力等を育てる教育活動を推進します。

(3) ジオパーク学習等による郷土愛の醸成

- 地域の歴史、文化、自然、災害などを学びながら、ジオパーク学習を中心とした体験学習の充実を図り、防災意識を高めるとともに、ふるさとへの愛着と豊かな心を育みます。
- 自然災害や火災から自らの命を守る主体的な行動力を育成するため、家庭や地域と連携した取組を推進します。

(4) キャリア教育の推進

- 児童生徒が社会人・職業人として成長するために、発達段階の特性に応じ、自分の可能性を自覚し、将来像を描いて自主的に学ぶ教育活動の更なる推進を図ります。
- 学校と地域や地元企業等が連携し、児童生徒の社会貢献活動や職場体験などの機会の充実を図ります。

(5) 一人ひとりの教育的ニーズに対応する体制の充実

- 子どもの悩みや課題に応じた適切な指導や支援などにより、教育相談体制の充実を図ります。
- 学校の生活や学習に困り感をもつ子どもの個別ニーズに応じた支援体制の充実を図ります。

(6) 高校の魅力化推進

- 多くの生徒が行きたい、保護者が通わせたいと思う高校を目指して、地域、行政が高校と連携して、地域人材育成のための支援を行います。
- 3高校それぞれの特色を生かした、事業の推進を図ります。

3 事業内容（主要事業）

(1) 学力向上支援事業

児童生徒の学習意欲向上を図るため、標準学力検査(NRT)の実施や日本漢字能力検定、実用英語技能検定及び実用数学技能検定の検定料の補助を行いました。

また、小学校全校で陰山メソッドによる学力向上対策を実施しました。集中力と基礎学力の向上を図るとともに、全校で統一的な取組ができるよう小中学校教職員を対象に学力向上プロジェクト部会を3回開催しました。

また、全国学力・学習状況調査の結果を受けて、結果を分析し、改善方法を共有するために、研修会を開催しました。

ほかに、小中学校の希望校において、授業支援及び放課後や長期休業等を活用した補習学習等に係る指導員の配置事業を実施しました。

【検定料補助金交付者数】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
日本漢字能力検定（小学生）	331人	390人	424人
日本漢字能力検定（中学生）	121人	88人	83人
実用英語技能検定（小学生）	59人	52人	51人
実用英語技能検定（中学生）	406人	355人	287人
実用数学技能検定（小学生）	5人	10人	8人
実用数学技能検定（中学生）	40人	36人	45人

(2) いじめ・不登校等防止対策事業

教育相談センターに嘱託指導主事1人、教育相談員7人、適応指導教室指導員3人を配置し、児童生徒や保護者、教職員への相談活動等を行いました。

若者サポートセンターに3人のスタッフを配置し、利用者の社会的自立に向けた支援を行いました。

生徒指導支援員3人を任用し、いじめ・不登校防止に向けて、児童生徒への指導方法について各校を訪問し教職員を指導しました。

学校相談員4人を任用し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図ったり、教職員の対応について指導・助言を行ったりしました。

(3) いじめ防止対策事業

令和4年12月、新たに4人のいじめ問題専門委員を選任しました。令和5年3月、いじめ問題専門委員会を開催し、糸魚川市いじめ防止基本方針及び糸魚川市いじめ防止等の行動計画の改定に向けてご意見をいただきました。

全ての児童生徒を対象に、ハイパーQ-U検査を年2回実施し、いじめや不登校の早期発見と予防に努めました。

(4) ふるさと糸魚川学習支援事業

幼稚園・保育園での自然体験活動や小・中学校における生活科と総合的な学習の時間において、地域に根差した、ふるさと糸魚川を学ぶジオパーク学習を実施し、成果を発表する場として「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」を開催しました。市内全ての学校の3年生若しくは4年生（複式学級の場合は3・4年生）が発表を通して感想を交流し、学びを共有しました。（参加児童317人）

糸魚川ジオパークの大きな特徴である「フォッサマグナ」や「糸魚川―静岡構造線」などの学習内容を、市内の児童生徒が共通して学べるように「糸魚川ジオパークピックアップ授業プラン」を作成しました。

(5) キャリア教育推進事業

中学2年生を対象にした職場体験活動は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、時間や期日を短縮して実施しました。

(6) 中学校キャリア教育フェスティバル事業

中学3年生を対象にした「キャリアフェスティバルいといがわ」は、総合体育館を会場に、生徒約300人と教育関係者、市内外の57事業者から出展いただき、開催しました。

(7) 地域愛育成事業

市内の小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図り

ました。

(8) コミュニティ・スクール運営事業

市内全学校でコミュニティ・スクールがスタートしてから3年が経過し、コミュニティ・スクールが果たす学校と地域の連携への理解が進んできています。そこで、令和4年度は、各学校の実情に合わせた連携を深めることに力点を置くこととし、市教育委員会主催の研修会は開催せず、必要に応じて各コミュニティ・スクールを支援しました。

(9) 学校教育補助員等配置事業

特別支援教育における個別支援のため、特別支援学級数に応じ、小学校37人、中学校11人、特別支援学校4人、合計52人の教育補助員を配置しました。

学校司書は、糸魚川小学校（糸魚川地域）、田沢小学校（青海地域）及び能生小学校（能生地域）に1人ずつ計3人を配置し、読書量の増加や授業の充実のために図書館の活用を図りました。

(10) 高校を核とした地域人材育成事業

市内3高校の魅力化を進めるため、令和4年度から新たに高校と地域をつなぐ高校魅力化コーディネーターを配置し、高校の探究学習へのサポートや、自習室の運営などを行いました。

また、探究学習への支援や企業と連携した学外授業、各校の魅力づくりの取組に対して支援することを目的とした、各高校を支援する団体（PTA等）への補助金交付を行いました。

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 学力向上支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校では陰山メソッドの取組を通して、基礎学力（計算や漢字学習等）の定着が図られました。・ 各種検定では、新型コロナウイルス感染症拡大により、英語検定（中学）の受検者数が減少しました。・ 小・中学校ともに本事業によって、補習及び学習支援の人材を活用する学校が増え、児童・生徒の個に応じた学習を行うことができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「授業改善チェックリスト」とICTを活用した「分かる授業」の推進が進むように指導を継続します。GIGAスクール構想の実施に伴って、授業での活用実践を積み重ねました。		

(2) いじめ・不登校等防止対策事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市いじめ防止基本方針及びいじめ防止等の行動計画などにに基づき、いじめ防止に向けた取組について関係機関へ周知しました。 ・ いじめや不登校の早期発見と解決に向けて、生徒指導支援員や教育相談員等との密接な連携により、学校と教育委員会が一体となって取組を進めています。 ・ 市適応指導教室と学校との連携により、市適応指導教室に通級する児童生徒への学習支援が充実しています。 ・ おおむね25歳未満の若者及びその保護者を対象とした若者サポートセンターの活動を通して、中学校卒業後の若者への支援体制を整えてきました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大化や不登校児童生徒の増加、長期化の未然防止のため、学校と市教育委員会間の早期報告・早期連携の体制構築に努めます。 		
(3) いじめ防止対策事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題専門委員会を開催し、重大事態を防ぐために、市いじめ防止基本方針及びいじめ防止等の行動計画の改定に向けて、適切な意見とアドバイスをもらい、より実効性の高い方針や計画の作成につながりました。 ・ 全ての児童生徒を対象に、ハイパーQ-U検査を実施することで、児童生徒の悩みや学級内の様子を把握することができ、いじめや不登校の早期発見や予防につながりました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの重大事態発生防止に向けて、全教職員が法令を理解するよう、抱え込みを防ぐ校内体制を構築するよう指導・支援を継続します。 		
(4) ふるさと糸魚川学習支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォッサマグナパークでの学習や、キターレでの防災学習のためのバス利用が各校に浸透してきました。 ・ 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」の参加者は、昨年度から市内の全14小学校の3年生又は4年生が参加することとしました。ステージ発表を通して、感想を交流することにより、学びを深めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク学習交流会」では、リハーサルを実施できるように、また、保護者・地域の方など多くの方から見ていただけるように運営方法を工夫します。 		

(5) キャリア教育推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学2年生の職場体験活動は、コロナ禍であったことから、時間や期間を短縮して行いました。 ・ 小学校においては、講師を招いてのキャリア教育の講演や体験活動等が一般的に行われるようになっていきます。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「キャリアフェスティバルいといがわ」を軸に、小学校のキャリア教育出前講座、中学2年生の職場体験活動を、効果的に各校の教育活動に取り入れられるように関連付けを図ります。 		
(6) 中学校キャリア教育フェスティバル事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ」は、市内事業者のキャリア教育への理解が深まるとともに、子ども一貫教育の重要な柱として位置付けることができました。 		
(7) 地域愛育成事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回復傾向にあった地域ボランティアの活動が、再度の新型コロナウイルス感染拡大のため学校及び地域での行事が中止となり、減少となりました。 ・ 地域学校協働活動推進員が増員となり、地域と学校の連携が進んできていますが、行事等に参加できるボランティアが少なく、人材の確保が課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を、地域全体で子どもたちの成長を支える一体的な取組として捉え、それぞれの持つ役割を十分に機能できるよう柔軟な運用を進めていきます。 ・ より多くの地域の人から学校におけるボランティア活動に参加してもらえるような仕組みを検討します。 		
(8) コミュニティ・スクール運営事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各コミュニティ・スクールにおいて、学校・家庭・地域で、情報、課題、目標、ビジョンなどを共有しながら、各学校の特色を生かした事業に自立的に取り組み、家庭・地域の理解を得てきました。 ・ 次年度も教育懇談会への積極的な参加を学校運営協議会委員や保護者に呼び掛け、地域と学校が連携して子どもを育てる環境が整うよう支援を継続します。 		

(9) 学校教育補助員等配置事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立学校15校に教育補助員52人を配置し、各校の特別支援教育の充実に寄与しています。一方で、通常学級における特別な支援を要する児童生徒の増加が見られ、これらの子どもに対応する支援者を要します。 ・ 学校司書を3地域に1人ずつ継続して配置し、定期的に担当する学校を巡回することにより、児童生徒が図書室を活用しやすい環境が維持され、教職員も学習に必要な情報を共有することができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援を要する児童生徒の増加傾向、支援の必要度から、教育補助員の必要度を十分に検討した上で、各校に配置しています。一方、通常学級在籍の児童生徒への支援のため、教育補助員の増員を要求していきます。 ・ 学校司書の資質向上による図書館教育の充実に寄与するため、研修の機会の提供に努めます。 		
(10) 高校を核とした地域人材育成事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度から高校の学習指導要領の変更もあり、総合的な探究の時間が授業として組み込まれ、市内3高校も新たな授業への負担も大きい中で、市内の子どもたちがより探究的な学びを実現できるよう、市として支援を進めています。 ・ 今年度配置した高校魅力化コーディネーターが、教員とは違った立場で生徒に接することで、生徒が変容し、子ども一貫教育を目指す「自立」や「愛着」を育み、子どもたちが目指す進路が実現できるための支援を行っています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会として、「自立」と「愛着」を育むために、高校においてどのような支援を行えば良いかを高校と対話しながら進めていきます。 ・ 各校の特色に合わせた魅力化を進めることで、進学や就職など、生徒が目指す進路が実現できる学校になるよう支援します。 		

3 学校教育環境の整備

(1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理

(2) 安全・防犯対策の充実

【基本方針】

充実した教育環境と安全性を確保するために、施設の適正管理を進めます。また、より良い教育環境を確保するために、学校の適正配置方針を検討し、計画的な改修と施設・設備の更新により、安全・安心で快適な教育環境を整えます。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
校舎大規模改修の実施済み中学校数	1校/3校	1校/3校	2校/3校
学校トイレのドライ化率（トイレ室のドライ化割合）	60.3%	65.0%	70.0%
特別教室へのエアコン設置率	52.3%	66.3%	75.0%

2 施策の方向

(1) 教育環境の充実と教育施設の適正管理

- 学校の適正規模や適正配置の検討を進め、学校適正配置方針を策定します。
- 学校施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設改修により、施設の適正管理に努めるとともに、時代に即応した教育環境を確保します。
- ICT教育の推進を図るため、教職員に対する研修やサポート体制を整え、授業等での利用促進と、個別最適な学習、協働的な学習の推進につなげます。

(2) 安全・防犯対策の充実

- いじめや不登校を生まない学校風土づくりのため、児童生徒の思いやりの心と、自ら考え行動する自主性を育む活動を推進します。
- 通学路での事故防止や防犯パトロールを継続し、地域やPTA、警察等関係機関との連携による情報共有に努め、安全対策や防犯対策を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 学校改修事業

内容	事業費	説明
田沢小学校改修工事	784 千円	職員玄関屋上防水工事
	46,063 千円	ガスヒートポンプエアコン更新工事
西海小学校改修工事	869 千円	高圧機器更新工事 ・気中開閉器の取替
青海小学校改修工事	3,135 千円	職員玄関電気錠設置工事
大和川小学校改修工事	3,973 千円	エキスパンションジョイント取替工事
	15,708 千円	特別教室等空調設備設置工事 ・エアコン設置 5台
糸魚川東小学校 改修工事	1,507 千円	職員玄関電気錠設置工事
	5,591 千円	特別教室等空調設備設置工事 ・エアコン設置 4台
青海中学校改修工事	12,829 千円	特別教室等空調設備設置工事 ・エアコン設置 5台
糸魚川中学校改修工事	44,684 千円	トイレ改修工事 ※令和3～4年度で実施 (改修内容) ・ドライ式床改修 ・照明器具取替 ・洋式便器新設 ・小便器新設
		8,538 千円
青海中学校大規模 改修工事	131,200 千円	体育館大規模改修工事 ※令和3～4年度債務負担行為 (改修内容) ・屋根、外壁改修 ・照明器具取替 ・放送設備取替 ・トイレ改修 等

(2) 学校ICT環境推進事業

全ての学校の特別教室等に、大型提示装置の追加整備を行いました。

指導者用のデジタル教科書等の導入状況は、以下のとおりです。

小学校：学年・教科を各校で3つ選択し、導入

中学校：学年・教科を各校で9つ選択し、導入

デジタルドリル：『K-GYM』 1～6年生を対象に、全ての小学校に導入

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 学校改修事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校改修事業は、糸魚川市学校施設長寿命化計画に基づき、学校の長寿命化を図るため、順次改修を行っています。 長寿命化以外に、経年による老朽化に伴う修繕も随時行っており、学校からの要望や現地を確認しながら実施しています。 中学校の大規模改修工事は、長寿命化を図るために順次行っているもので、令和2年度からは青海中学校体育館（令和4年度まで）、令和3年度からは糸魚川中学校トイレ（令和4年度まで）、令和4年度からは青海中学校トイレ（令和5年度まで）の大規模改修を実施しており、計画的に改修を進めています。 小学校は老朽化による劣化が進んでいる学校もあり、今後計画的に改修を進めていく必要があります。 学校へのエアコン（冷房設備）設置について、普通教室は令和元年度に全て終了していますが、特別教室への設置は進んでおらず、感染症や熱中症のリスクもあり、計画的な設置が必要です。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿命化のための改修は、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施します。 安全・安心な学習環境が確保できるよう施設の維持管理を行い、併せてトイレの洋式化や空調設備の設置等など、感染症にも対応できるような衛生環境や居住環境の改善を図ります。 		
(2) 学校ICT環境推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別教室等への大型提示装置などの周辺機器の導入が完了し、ICT教育推進の環境を整えました。併せて、プログラミング教育やICT機器の活用方法について、教職員に対する研修やサポート体制の充実を図るため、学校ICT支援員を4人配置しました。 		

第3 生涯学習の振興

1 社会教育の振興

- (1) 地域と連携した社会教育の推進
- (2) 生涯学習機会の充実
- (3) 施設の適正管理と有効活用
- (4) 図書館サービスの充実

【基本方針】

市民一人ひとりの学びの機会、またその学びを活用する機会を充実させ、豊かな人生と持続可能な社会の実現を目指します。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
地域学校協働活動ボランティアを行う市民の割合	3.6%	3.0%	5.0%
図書館利用者数	55,755人	63,000人	85,000人
市民一人あたりの貸出冊数	5.3冊	5.3冊	5.5冊

2 施策の方向

(1) 地域と連携した社会教育の推進

- 個人の学びを地域で活用する循環型の生涯学習社会の実現を図るため、地域ぐるみで子どもを育む地域学校協働活動や、地区と一体的に行う公民館活動など、幼少期から高齢期までの幅広い年代の人の地域の社会教育活動への参画の機運を高めるとともに、地域と連携した公民館の運営体制について検討します。

(2) 生涯学習機会の充実

- 正しい生活リズムの定着を主軸に、多様化する生活スタイルに対応した家庭教育支援を充実させます。
- 未来を担う子どもたちが、ふるさとでの豊かな将来を想像できるよう、地域の自然や魅力を生かした事業を提供し、郷土愛あふれる青少年を育成します。
- 情報化社会に求められる学習ニーズに対応し、人と人、人と地域の継続的なつながりを作る学習機会を提供します。
- 地域の人材を育むことを目的に、大人の学び直しを推進します。

(3) 施設の適正管理と有効活用

- 生涯学習センターや地区公民館などの施設の適正管理を行います。特に、地区公民館は、地域のコミュニティセンターとしての一面があることを踏まえ、機能の充実を図るとともに、計画的な改修を実施します。
- 市民の声を聞きながら、新たな図書館の在り方について検討します。

(4) 図書館サービスの充実

- 民間の活力やノウハウを活用し、効率的な運営や専門性の向上により、窓口サービスの充実を図ります。
- 利用者ニーズの把握に努め、図書や視聴覚資料など資料の充実を図ります。
- 子ども読書推進計画に基づき、読書のきっかけとなる場や本に親しむ機会を提供するための環境整備や啓発活動を行います。
- 社会情勢の変化に対応し、新しい技術を取り入れた図書館サービスの在り方について検討を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 地域愛育成事業【再掲】

市内の小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携を図りました。なお、推進員を配置しない学校は、公民館と連携しています。

【地域愛育成事業参加者数】

区分	令和3年度	令和4年度
地域学校協働活動推進員	11人	13人
学校支援ボランティア	18,621人	16,224人

(2) 青少年活動事業

青少年の豊かな心、たくましく生きる力、郷土愛を育むことを目的とした交流を伴う体験学習事業は、一部を除き基本的に実施することができました。

小学生を対象としたキャリア教育の取組である「キッズフェスタ」は、参加者数を限定し、感染対策をとり、3会場で開催しました。

令和4年度からボランティア活動をしてくれた高校生に対して証明書を発行する「青春（あおはる）サポーター」を始めることができました。

【青少年活動事業参加者数】

区分	令和3年度	令和4年度
ワクワク探検隊参加者数	20人	32人
海とあそぼう参加者数	中止	中止

キッズフェスタ参加者数	124人	103人
ジュニアボランティア(青春サポーター)	—	57人

(3) 家庭教育支援事業

就学時検診や移行学級の機会を活用して保護者に向けて行う「子育て講座」、豊かな想像力を育むことを目的に親子で自然体験活動を行う「ふるさと楽習親子塾」、子どもの居場所づくりや家庭学習の習慣付け、図書館の利用促進を目的として開設する「土曜自習室」、父親向け講座として正しい生活リズムの定着と父親との関わりを目指す「お父さんといっしょ」に取り組みました。

また、糸魚川市駅北大火5年事業として令和3年度に実施した、親子で防災について学ぶ「親子防災教室」を引き続き実施しました。

【家庭教育支援事業参加者数】

区分	令和3年度	令和4年度
子育て講座参加者数 (学童期・思春期・中学生等)	597人	546人
ふるさと楽習親子塾参加者数	116人	122人
土曜自習室参加者数	32人	84人
父親向け講座参加者数	24人	20人
親子防災教室参加者数	22人	18人

(4) 成人教育事業

新型コロナ対策を行いながらジオパーク学習、上越市・妙高市と連携して実施する社会教育連携歴史講座など、生涯学習事業の多くを再開することができました。

学び直しや人材育成事業を目的とした各種公民館行事や、夏休み自然講座として野鳥の展示会・講演会、生涯学習講座の「おみちよう英会話」を開催することができました。

【成人教育事業参加者数】

区分	令和3年度	令和4年度
おとなのワクワク探検隊参加者数	中止	12人
上越地区広域連携社会教育事業参加者数	中止	16人
生涯学習講座参加者数	77人	136人

(5) 地区公民館施設整備事業

内容	事業費	説明
木浦地区公民館既存施設除却工事	13,345 千円	アスベスト調査 公民館除却工事
地区公民館エアコン更新	1,836 千円	磯部、西能生、浦本、 今井

(6) 生涯学習施設整備事業

内容	事業費	説明
名引支館和室床板張替工事	1,375 千円	和室床張替 一式
名引支館敷地整備工事	2,277 千円	横断防止柵設置工 L=9m 表層工 A=117㎡ 区画線工 L=88m
青海地域支館LED化（その1）工事	※R5年度へ繰越し	支館のLED化 2館
青海地域支館LED化（その2）工事	6,380 千円	支館のLED化 3館
青海地域支館LED化（その3）工事	※R5年度へ繰越し	支館のLED化 3館
青海地域支館LED化設計業務委託	1,980 千円	支館のLED化設計 8館
西町支館改修工事	4,224 千円 ※R3年度から繰越し	支館のLED化 外壁改修

(7) 図書館資料整備事業

図書（4,724冊）の購入により図書館資料の充実に努めました。

「ジオパークコーナー」「相馬御風コーナー」の常設、季節に応じた絵本や、テーマごとの関連図書の展示、広報やホームページでの新刊図書の掲載など、本の紹介と情報提供に努めました。

【市民図書館蔵書冊数】

区分	令和3年度	令和4年度
市民図書館	132,650冊	115,131冊
能生図書館	58,719冊	56,059冊
青海図書館	81,097冊	77,888冊
3館合計	272,466冊	249,078冊

(8) 絵本ふれあい事業

ブックスタート事業の実施や、キターレとジオパルに絵本を設置するなど、図書館以外のスペースを活用し、気軽に読書を楽しめる場所づくりと、本に触れるきっかけとなる「まちなか図書館」を実施しました。

【絵本ふれあい事業参加者数等】

区分	令和3年度	令和4年度
ブックスタート参加者数	165人	178人
図書館における絵本の貸出冊数	44,617冊	36,369冊

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 地域愛育成事業【再掲】	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 回復傾向にあった地域ボランティアの活動が、再度の新型コロナウイルスの感染拡大のため、学校及び地域での行事が中止となり減少しました。 地域学校協働活動推進員が増員となり、地域と学校の連携が進んできていますが、行事等に参加できるボランティアが少なく、人材の確保が課題となっています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を、地域全体で子どもたちの成長を支える一体的な取組として捉え、それぞれの持つ役割を十分に機能できるよう柔軟な運用を進めていきます。 より多くの地域の人から学校におけるボランティア活動に参加してもらえるような仕組みを検討します。 		
(2) 青少年活動事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然体験事業「ワクワク探検隊」について、アクトキッズ糸魚川と連携し、実施しました。昨年の反省を生かし、役割分担等の打合せを十分に行った結果、スムーズな事業実施ができました。 職業体験事業「キッズフェスタ」は、市内外のお店・技術者の協力を得て、多種多様な職業体験を行うことができましたが、地域ごとの参加率にばらつきがあることが課題です。 ジュニアボランティアについては、「青春サポーター」として市内高校3校に市内の関係するボランティア募集を行い、多くの学生から参加をしてもらうことができました。 「ワクワク探検隊」は、今後も青少年活動の指導者団体である「アクトキ 		

<p>「キッズ糸魚川」と連携して開催することで、市民と一体となった青少年の健全育成と見守りにつなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キッズフェスタ」は、より多くの方が参加しやすくなるよう日程や会場について検討します。 青春サポーターは、より多くの機会を高校生に提供するため、制度の認知度向上を目指して庁内や関係機関に周知を行います。 		
(3) 家庭教育支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと楽習親子塾」は、自然体験学習を通して親子の絆を深めるとともに、ふるさとの良さを知る貴重な機会となっており、感染症対策をとりながら実施しました。 「土曜自習室」は、市民図書館と青海総合文化会館のほか、能生地域でも冬休みに実施し、令和5年度につなげました。参加者は少ないですが、子どもの居場所の一つとして徐々に浸透してきています。 「お父さんといっしょ」は、生活リズムの定着と、母親と比べて一緒に過ごす時間が少ない父親とのつながりを深めることを目的に、夏休みと冬休みに実施しました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「土曜自習室」については、子どもが安心して過ごすことのできる居場所としての定着を図るため、3地域で開催し、それぞれの地域の方の協力を得ながら、引き続き実施に努めていきます。 家庭教育の基本は「生活リズムの定着」と「家族のふれあい」が重要と考えますので、内容を検討しながら、事業を実施していきます。 		
(4) 成人教育事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おみちよう英会話」は3会場で行い、より多くの方に参加してもらい、高齢者の学び直しを目的とした事業を実施することができました。 「おとなのワクワク探検隊」は、大人がまず自然を楽しみ、自然体験へ興味を持つ人を増やすことを目的に、天体観測を行い、想定より多くの方に参加してもらうことができました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会人の学び直しに対するニーズの高まりと、地域の人材育成を目的に、「おみちよう英会話」や「おとなのワクワク探検隊」をはじめとした様々なジャンルの学び直し講座や指導者育成講座を企画していきます。 		

(5) 地区公民館施設整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木浦地区公民館既存施設除却工事は、アスベスト調査と並行して施設の除却工事を行いました。その結果、アスベスト調査で想定した以上のアスベストが発見されたため、除却工事費が大幅に増額変更となりましたが、除却工事は無事終了しました。 公民館エアコンの入替えを計画的に行っていますが、故障して修繕ができない機器があれば優先して入れ替えています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、工事の計画を立てる際は、アスベスト調査など、事前調査を確実にを行い、関係各課と密に連携を取りながら進めます。 		
(6) 生涯学習施設整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青海地域支館のLED化工事を中心とした生涯学習施設の整備工事を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、製品の供給が遅れたことにより、一部の工事が繰越明許工事になりましたが、おおむね順調に工事を進められました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事を発注する際には、社会状況を勘案し、不測の事態が生じても、工事を滞りなく遂行できるように余裕を持った発注を行います。 		
(7) 図書館資料整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会情勢や利用者の要望などを考慮しながら、資料の選書を行い、魅力的な書架づくりに努めました。 10月から窓口業務を民間に委託し、利用しやすい環境づくりや「どのえほんがすき？」などの行事を開催し、図書館に興味や関心を持ってもらえるように努めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、資料の充実を図り、新たな利用者の確保と利用の促進に努めます。 		
(8) 絵本ふれあい事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業は、新型コロナウイルス感染予防のため、読み聞かせは実施できませんでしたが、絵本の紹介や家庭での読み聞かせのポイントなどについての案内をしました。 		

- ・ 「まちなか図書館」を継続して実施しました。ジオパルには電車関連の本を、キターレには絵本や読み物など、各施設に来館する人に合わせた本を配置しました。

【課題解決に向けた取組】

- ・ 「まちなか図書館」に設置してある絵本や図書の入替えを定期的に行い、多くの人から本に触れてもらえる場所になるよう努めます。
- ・ ブックススタート事業は、読み聞かせを再開し、親子で本を読む楽しさを感じてもらえるように取り組んでいきます。

2 スポーツの振興

- (1) スポーツを通じた健康づくりの推進
- (2) 競技スポーツの振興
- (3) 施設の適正管理と環境整備

【基本方針】

夢と希望を与えることができるスポーツを通じ、健康づくりや生きがいづくりの市民意識の高揚を図るとともに、スポーツの魅力向上を目指します。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
一人の市民が公の施設でスポーツ活動を行う回数	5.7回	6.8回	9.9回

2 施策の方向

(1) スポーツを通じた健康づくりの推進

- 軽スポーツ等に親しめる機会を提供し、健康寿命の延伸と仲間づくりを進めます。
- 「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツに親しみ、人との交流を促進するスポーツクラブ等の活動を支援します。

(2) 競技スポーツの振興

- スポーツ協会等への支援を行い、様々なジャンルのスポーツで質の高い指導が可能となるよう、各種競技団体と協働して講習会や研修会を行うとともに、他市のスポーツ協会とも連携して、競技力の向上を目指します。
- プロスポーツ選手の実技観戦や指導者講習の実施により、実際に見て体感する機会を提供し、選手の育成や競技力の向上に向けた取組を進めます。

(3) 施設の適正管理と環境整備

- 使用状況等を勘案し、効果的な整備・管理に努めます。

3 事業内容（主要事業）

(1) スポーツ推進事業

いきいきスポーツ教室（3種目）、市民スポーツ教室（12種目）、地区スポーツ教室（6地区）や水泳教室を実施し、気軽に参加できる環境づくりに努めました。

冬季スポーツ振興助成事業として、子どもたちへのリフト乗車料金の助成を実施し、雪国の特性を生かしたスキー等のスポーツに親しむ機会を増やす支援を実施し

ました。

市民総合体育祭（23種目）、少年少女ソフトボール大会、駅伝大会及びスキー大会を実施し、市民の参加と各種団体等と連携した取組を実施しました。

全国大会等出場者激励金を団体7件、個人21件（29人）、合計28件交付しました。内訳は、小・中学校15件、高校6件、一般7件です。ほかに、中学校軟式野球大会の開催を支援しました。

また、有名選手招致事業として、東京2020パラリンピック男子マラソンT46（切断・運動機能）銅メダリストの永田務選手を招き、講演会とポッチャ及びランニングのイベントを開催しました。

【各種スポーツ教室開催状況】

区分	令和3年度	令和4年度
いきいきスポーツ教室 種目数、延べ受講者数	3種目 215人	3種目 220人
市民スポーツ教室 種目数、延べ受講者数	10種目 153人	12種目 162人
地区スポーツ教室 地区数、延べ受講者数	10地区 1,164人	6地区 459人
市主催水泳教室 講座数、延べ受講者数	2講座 42人	2講座 35人
地区スポーツトライアル事業 種目数、延べ受講者数	1地区4種目 426人	2地区6種目 1,251人
冬季スポーツ振興助成事業 助成件数	5,162件	4,363件
海洋スポーツ普及振興事業 参加者数	中止	9人

(2) 体育団体等支援事業

糸魚川市スポーツ協会、ジュニア育成団体に補助金等による支援を行いました。
(競技種目別団体30団体、学校体育団体5団体)

【スポーツ協会加盟状況】

区分	令和3年度	令和4年度
加盟団体数	35団体	35団体
加盟者数	6,313人	6,110人
ジュニア補助団体数	46団体	44団体

(3) スポーツ施設整備事業

内容	事業費	説明
美山球場改修工事	23,100千円	ファウルポール撤去・設置工 2本 緩衝材撤去・設置工 511㎡ 門扉撤去・設置工 2か所 ファウルライン路面舗装工 102m ※R5に繰越し
能生B&G海洋センタープール トイレ洋式化及び水栓取替工事	1,144千円	トイレ洋式化(男女1か所ずつ) 手洗器水栓取替(男2、女1か所)
美山多目的グラウンド 改修工事	5,222千円	防球ネット改修工事 L=20.0m H=8.6m
能生体育館 吸収式温水機修繕工事	1,540千円	機材搬入、冷媒抽出 一式 冷媒ブロー弁交換 一式
青海総合グラウンド 高圧気中開閉器更新工事	1,081千円	高圧気中開閉器更新 一式 機器撤去・取付け 一式 開閉器操作及び完成検査

【体育施設利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
施設数	30施設	31施設
利用団体数	8,393団体	8,891団体
利用者人数	131,054人	137,994人

【学校施設利用状況】

区分	令和3年度	令和4年度
開放施設数	19施設	19施設
利用団体数	3,646団体	4,069団体
利用者人数	59,390人	68,936人

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) スポーツ推進事業	評価	おおむね順調
【評価理由】 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室やスポーツ大会を新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、スポーツ協会加盟団体や地区公民館と連携し、各種事業を実施しました。 隔年開催となっている有名選手招致事業の開催年度であり、東京2020パラリンピック男子マラソン銅メダリストの永田務選手を招き、講演会とボッチャ交流会、ランニングイベントなどを開催しました。障がい者スポーツの愛好 		

<p>者団体などと協力し、イベントを開催することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用希望が重複する施設は、曜日や時間帯の調整により、有効利用を図りました。また、市立小中学校及び市内の高校と連携した学校施設の開放により、有効利用と利用者の希望に沿ったスポーツ活動の場の提供に努めました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策などの考え方も整理され、コロナ禍以前の事業実施体制・事業規模が戻ってきています。アフターコロナ・ウィズコロナに対応した内容を模索しながら、市民が気軽に参加できる機会の提供を継続します。併せて、市民ニーズの把握に努め、いつでも・どこでも・だれでもが気軽にスポーツに親しめる環境づくりについて、調査・研究を進めます。 		
(2) 体育団体等支援事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加盟団体の会員数は減少傾向にあるものの、加盟団体数は維持しています。 ・ 全国大会等の上位大会出場件数は39件で、前年度比162.5%増となりました。 ・ 競技力向上やスポーツ指導者の養成とその資質向上を目指すため、上部団体やスポーツ協会及び加盟団体と今後も連携を図ります。 ・ 指導者を対象にした講習会の開催による資質向上や、協会として取り組む事業の見直しが必要です。 		
(3) スポーツ施設整備事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美山球場のフェンスや美山多目的グラウンドのネット嵩上工事などを行いました。今後、総合体育館やナイター照明のLED化や長寿命化に向けた施設の計画的な改修を進めていく必要があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設の改修等については、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施します。 		

第4 文化の振興

1 芸術文化の振興

- (1) 市民の芸術文化活動への支援
- (2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
- (3) 文化施設の有効活用

【基本方針】

市民の心の豊かさを育むため、芸術文化の振興を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
年間市民一人当たりの文化事業参加回数※ 1	0.3回	1.0回	1.5回
年間市民一人当たりの文化施設利用回数※ 2	1.7回	1.9回	2.4回

※1 美術展や文化ホール事業等、市が関連する文化事業の参加者数／人口

※2 糸魚川市民会館、青海総合文化会館、ビーチホールまがたま、能生マリンホールの利用者数／人口

2 施策の方向

(1) 市民の芸術文化活動への支援

- 市民の主体的な芸術文化活動を支援し、若い年齢層を含む多様な世代間の交流を図ります。
- 学校や市民団体などと連携し、郷土にゆかりのある文化人の顕彰などにより、文化の振興と郷土愛の醸成を図ります。

(2) 優れた芸術文化の鑑賞機会の提供

- 心豊かな市民生活のため、音楽コンサートや演劇、美術展など優れた芸術文化に触れる機会を提供します。
- 学校をはじめ、市民団体や地域等と連携しながら、若い世代が文化に親しむ機会を設けます。
- 集客型事業のほか、メディアの活用やアウトリーチなど、多様な手法で鑑賞機会を提供します。

(3) 文化施設の有効活用

- 市民会館などの文化施設については、引き続き多くの方から様々な文化活動に

利用されるように努めます。

- 文化施設の利便性や効率性を考慮しながら、計画的に改修・整備をします。

3 事業内容（主要事業）

(1) 文化活動支援事業

市民の自主的な鑑賞事業の実施を支援することにより、優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るための支援制度ですが、新型コロナウイルス感染症への懸念により、令和2、3年度と同じく実績がありませんでした。

【文化活動支援事業支援状況】

区分	令和3年度	令和4年度
支援件数	0件	0件
補助額	0円	0円
入場者数	0人	0人

(2) 文化協会支援事業

補助金による支援及び人的支援（事務局代行）を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響によりいくつかの事業が中止となりましたが、11月に「ささゆり茶会」、3月に「文化協会フェスティバル」を実施しました。

【事業実施状況】

区分	令和3年度	令和4年度
会員数	115団体 2,508人	112団体 2,354人
事業数（総合）	2件	3件
事業数（部会）	2件	6件
参加者数	650人	2,268人

※令和3年度は新型コロナ禍でほとんどの事業を中止

(3) 相馬御風顕彰事業

短歌大会と俳句大会を隔年で開催し、令和4年度は短歌大会を開催しました。

ほかには、御風さんぬりえコンテストの実施、史跡相馬御風宅新潟県指定70周年記念ノベルティ作成、短歌大会等のイベント時に御風さん人形（着ぐるみ）の活用など、広く相馬御風の周知を図りました。

【短歌・俳句大会実施状況】

区分	令和3年度	令和4年度
応募人数	2,516人	1,766人
応募作品数	2,904句	2,072首

※令和3年度は俳句大会、令和4年度は短歌大会を実施

(4) 美術展覧会事業

糸魚川市美術展覧会、市展賞作品展、能生作品展及び青海美術展を実施し、画廊きららでは常設展示を行いました。能生作品展、青海美術展については、前年度に引き続きコロナ禍により、出展数を制限して実施しました。

また、糸魚川市美術展覧会では出品数が減少傾向にあることから、地元の芸術文化活動団体を指導者として体験する場を設けることで、芸術文化活動への関心を高めるきっかけとなるよう、芸術文化活動体験教室「はじめての陶芸」を行いました。

【美術展覧会・作品展・美術展等実施状況】

区分	令和3年度	令和4年度
入場者数	3,072人	2,198人
作品数	466点	509点

(5) 鑑賞推進事業

感染症拡大防止対策を徹底しながら、優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するとともに、市民参加型事業をはじめ、老若男女を問わず鑑賞可能なジャンルの公演事業の充実を図りました。

【鑑賞推進事業実施状況】

区分	令和3年度	令和4年度
事業数	18回	16回
鑑賞者数	4,095人	6,122人

※令和3年度は新型コロナ禍のため、ホール収容率の50%以下の座席数で実施

(6) 文化ホール施設改修事業

老朽化・経年劣化による不具合が多くなっており、利用者の利便性を確保するため、優先度の高い施設の改修工事等を行いました。

【青海総合文化会館施設改修事業】

内容	事業費	説明
舞台機構改修工事	23,330 千円	電動昇降機装置更新 (側面反射板に係るもの)

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 文化活動支援事業	評 価	—
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、事業の実施を控え、また、事業内容変更を余儀なくされたイベントがあり、実績がなかったため、評価しません。 		
(2) 文化協会支援事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ禍の中、対策を徹底しながら、活動意欲を失わないよう助言等を行いました。前年度に中止となった総合事業（ささゆり茶会、文化協会フェスティバル）を開催できました。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、助言等を行っていきます。 		
(3) 相馬御風顕彰事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般の部の応募数は増加傾向にありますが、児童・生徒の部は少子化により、年々減少傾向にあります。 インターネットを用いた作品募集を実施し、全国から広く応募があります。 指導者、地元選者の高齢化が進み、市内学校で「短歌、俳句教室」等の実施が困難になっています。 相馬御風の業績周知という点では、顕彰事業の効果が小さいという課題があります。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が俳句・短歌に関心や親しみを持ち、将来の指導者育成（御風顕彰）につながるよう取組を継続します。 インターネットでの作品募集を継続し、御風の業績周知に努めます。 		
(4) 美術展覧会事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減や自己表現方法の多様化などにより、入場者数、出品数が減少傾向にあり、出品者の高齢化や固定化も課題となっています。 本年度は、糸魚川市美術展覧会の会場を変更して、ワンフロアでの展示とし、来場者からは、おおむね好評をいただきました。 		

<p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、作品制作の裾野を広げるための活動を行い、展示会場に会場いただくための方策を検討します。 		
(5) 鑑賞推進事業	評 価	おおむね順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、幅広いジャンルで、老若男女が楽しめる鑑賞事業を継続的に企画し、実施しています。近年では、女性と子どもをターゲットとした事業展開を進めています。 令和4年度は、コロナ禍で半分としていた客席収容率を、5月以降に100%に戻し事業を行い、徐々に来場者の足もホールに向いてきています。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートや事業ごとの来館傾向を分析することでニーズ把握に努め、芸術文化の公演実施に取り組みます。また、旅行業界も活気が戻ってきているため、民間の旅行商品とのコラボ企画（舞台鑑賞後に夕食と温泉等）にも協力するなどして集客を進めます。 		
(6) 文化ホール施設改修事業	評 価	遅れている
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民会館を除く市内3か所のホールは、老朽化・経年劣化により、改修や修繕、更新が必要となっており、計画的な改修工事を実施すべく年次計画を立てて取り組んでいます。 近年、保守点検等で複数の要修繕箇所が指摘されていますが、突発的な修繕も含めて多額な費用を要することから、計画どおりに進んでいません。 施設の長寿命化を念頭に、予防保全的な改修や修繕を計画するものの、財政計画との兼ね合い等から計画どおりに進んでいません。 <p>【課題解決に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を経過した施設の予防保全的な修繕・改修を行うことを念頭に置きつつ、財政計画を考慮しながら優先順位を決めて、対応を進めます。 令和5年度は、市公共施設等総合管理指針個別計画の改定年であることから、計画の見直しを進めます。 		

2 歴史・文化の継承と活用

- (1) 文化財の保存と活用
- (2) 伝統文化の継承と活用
- (3) 文化財の適正収蔵と公開の強化
- (4) 博物館施設の充実と活動の推進

【基本方針】

ふるさと糸魚川に誇りを持ち愛する心を育むため、文化財や伝統文化の保存と活用を図ります。

1 施策指標

指標	現状 (R4)	中間目標 (R6)	最終目標 (R10)
博物館・資料館入館者数	110,213人	70,000人	100,000人

2 施策の方向

(1) 文化財の保存と活用

- 市民、事業所、行政がそれぞれの役割を担い、協働により文化財を守り、活用し、伝える体制を築くとともに、歴史・文化による魅力ある地域づくりを行うため、糸魚川市の文化財の総合的指針となる文化財保存活用地域計画を策定します。

(2) 伝統文化の継承と活用

- 伝統文化を次世代に継承できるよう、講座等学習の場の提供、映像記録の収集と活用を行うとともに、地域及び同様の文化財敬称団体との連携、協力体制の構築を図り、伝承・保存活動を支援します。

(3) 文化財の適正収蔵と公開の強化

- 文化財を適正に保存・活用するため、展示や管理運営方法を見直し、既存施設の有効活用等による施設整備を図るとともに、計画的な企画展、特別展、巡回展の開催などによる指定文化財の積極的な公開と解説の機会増を図ります。

(4) 博物館施設の充実と活動の推進

- フォッサマグナミュージアムや長者ヶ原考古館において、糸魚川の貴重な自然・文化資源や資料の研究・収蔵をし、その成果を展示・教育活動を通じて分かりやすく発信します。
- フォッサマグナパークの断層露頭の保全と枕状溶岩の野外展示の改良を行い、

周辺の自然・文化資源との回遊性を考慮した保全と整備を進めます。

3 事業内容（主要事業）

(1) 国指定文化財整備事業

対象事業なし

(2) 埋蔵文化財発掘調査事業

試掘確認調査を6か所（山崎A遺跡・山口番所跡ほか）で行いました。

【試掘確認調査】

区分	令和3年度	令和4年度
遺跡・地点数	3か所	6か所
調査規模	38㎡	440㎡

(3) 埋蔵文化財保存・活用事業

対象事業なし

(4) 文化財保護事業

【文化財管理・調査・継承】

区分	令和3年度	令和4年度
表示物（標柱・解説版）設置数	1件	1件
調査・記録	1件	0件
助成件数	2件	3件

【ジオパーク歴史講座・市内遺跡講座】

区分	令和3年度	令和4年度
講座数	13講座	11講座
聴講者数	309人	232人

(5) 博物館活動推進事業

ア 展示活動

内容	会期・会場	説明
ミニ企画展 「小惑星リュウグウのレプリカサンプル」	6月12日～7月10日 ミュージアムふるさと展示室	探査機はやぶさ2が回収した小惑星リュウグウのレプリカサンプルと解説を展示 協力：JAXA、相模原市観光・シティプロモーション課
ミニ企画展 「石のお寿司」	6月26日～8月28日 ミュージアムふるさと展示室	女子美術大学を卒業された濱平茉莉さんが卒業制作として石で作成し、SNS等で話題になった、本物そっくりの石のお寿司を展示
企画展ヒスイを新潟県の石へ「みんなのヒスイ展」	9月3日～10月31日 ミュージアムふるさと展示室	市民の皆さんが所蔵するご自慢のヒスイを展示
ミニ企画展 「松本清張と万葉翡翠 - 求めて得まし玉かも-」	9月3日～11月30日 ミュージアムふるさと展示室	糸魚川のヒスイが題材となった小説『万葉翡翠』を中心に松本清張関連の書籍を展示
特別展「太古の海の化石展」	10月2日～11月27日 ミュージアム研修室	糸魚川の大地の歴史を物語るおよそ4億年前から1億年前の海の生き物の化石を展示
ミニ展示「貫通石」	2月1日～3月21日 ミュージアムふるさと展示室	トンネル貫通地点の石「貫通石」を展示
ミニ展示 「藤木節子ステンドグラス展・石の見立て雛」	2月22日～3月5日 ミュージアムふるさと展示室	今井地区出身のステンドグラス作家・藤木節子さんの、糸魚川の景色をテーマにした作品や、お雛様に見立てた石を展示 協力：糸魚川の町屋文化を守り伝える会

イ 教育普及研究活動

区分	令和3年度	令和4年度
ジオパーク野外講座	6回 65人	6回 65人
ジオパーク講座	7回 202人	5回 93人
記念講演会	2回 944人	2回 86人
おもしろみゅーじあむ	6回 96人	9回 421人
ジオパーク関係講座	4回 86人	0回 0人

学校教育との連携	48回 2,210人	143回 6,661人
公民館等への出前講座	28回 580人	83回 2,372人
調査研究活動（学会発表を含む。）	27回	23回

(6) 博物館整備事業

内容	事業費	説明
・フォッサマグナシアター映像 投射機の更新	4,345 千円	・プロジェクター・ズームレンズ の購入、及び設定・調整費

(7) フォッサマグナパーク整備事業

内容	事業費	説明
・糸魚川－静岡構造線モニュ メント制作・設置 ・ナビゲーションシステム導入	12,195 千円	・糸魚川－静岡構造線を可視化す るモニュメントの設置 ・糸魚川ジオパークエリアの紹介 や案内をするアプリケーション 開発

4 評価及び評価理由、課題解決に向けた取組

(1) 国指定文化財整備事業	評 価	—
【評価理由】 ・ 対象事業がなかったため、評価しません。		
(2) 埋蔵文化財発掘調査事業	評 価	順調
【評価理由】 ・ 開発に伴う法令行為については、円滑に事業を推進し、成果の公開・活用 を行いました。 ・ 埋蔵文化財の適切な保存のため、開発行為等の情報収集と円滑で効果的な 事業を継続して実施します。		
(3) 埋蔵文化財保存・活用事業	評 価	—
【評価理由】 ・ 対象事業がなかったため、評価しません。		
(4) 文化財保護事業	評 価	順調
【評価理由】 ・ 市内文化財の保存・活用について方向性を定め、総合的・一体的に取り組 むための「糸魚川市文化財保存活用地域計画」の策定を進めました。		

<ul style="list-style-type: none"> 映像資料のデジタル化に取り組み、文化財の保存・活用の推進を図りました。 ジオパーク歴史講座等を開催し、文化財の周知と理解促進を図りました。 		
(5) 博物館活動推進事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の未来とSDGsをテーマとした特別展を開催し、誘客を図りました。また、ジオパーク講座、ジオパーク野外講座などを開催して教育普及活動に取り組み、文化資源の理解促進を図りました。 		
(6) 博物館整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐用年数（稼働時間）の経過したフォッサマグナシアター映像投射機の更新を行いました。 		
(7) フォッサマグナパーク整備事業	評 価	順調
<p>【評価理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「糸魚川－静岡構造線」の可視化と象徴化、また、「糸魚川－静岡構造線」が天然記念物に指定された記念のモニュメントを制作し、新たな文化コンテンツとして情報発信を行いました。 		

事業評価一覧

第1章 子どもを産み育てやすい環境の整備

施策	主要事業	評価	頁
1 妊娠出産支援と親子の健康増進	(1) 妊娠アシスト事業	順調	8
	(2) 親子の絆応援事業	おおむね順調	9
	(3) 妊産婦支援事業	おおむね順調	9
	(4) 乳幼児すこやか事業	順調	9
	(5) 早寝早起きおいしい朝ごはん事業	順調	9
	(6) 親子食育推進事業	おおむね順調	10
2 子育て支援の充実	(1) 子育て支援センター運営事業	順調	14
	(2) 子ども医療費助成事業	順調	14
	(3) 特別保育事業	おおむね順調	14
	(4) 休日お助け保育事業	順調	14
	(5) 病児保育事業	順調	14
	(6) 学童保育事業	順調	14
	(7) ファミリーサポートセンター事業	おおむね順調	15
3 子どもと子育てにかかわる連携の推進	(1) 子ども一貫教育推進事業	おおむね順調	17

第2章 0歳から18歳までの子ども一貫教育の推進

1 就学前教育の充実	(1) 子ども一貫教育推進事業【再掲】	おおむね順調	19
	(2) 子育て支援センター運営事業【再掲】	順調	19
	(3) 親子の絆応援事業【再掲】	おおむね順調	20
2 質の高い学校教育の推進	(1) 学力向上支援事業	おおむね順調	24
	(2) いじめ・不登校等防止対策事業	おおむね順調	25
	(3) いじめ防止対策事業	おおむね順調	25
	(4) ふるさと糸魚川学習支援事業	おおむね順調	25

	(5) キャリア教育推進事業	おおむね順調	26
	(6) 中学校キャリア教育フェスティバル事業	順調	26
	(7) 地域愛育成事業	おおむね順調	26
	(8) コミュニティ・スクール運営事業	順調	26
	(9) 学校教育補助員等配置事業	おおむね順調	27
	(10) 高校を核とした地域人材育成事業	おおむね順調	27
3 学校教育環境の整備	(1) 学校改修事業	おおむね順調	30
	(2) 学校ICT環境推進事業	順調	30

第3章 生涯学習の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 社会教育の振興	(1) 地域愛育成事業【再掲】	おおむね順調	35
	(2) 青少年活動事業	順調	35
	(3) 家庭教育支援事業	おおむね順調	36
	(4) 成人教育事業	おおむね順調	36
	(5) 地区公民館施設整備事業	おおむね順調	37
	(6) 生涯学習施設整備事業	おおむね順調	37
	(7) 図書館資料整備事業	おおむね順調	37
	(8) 絵本ふれあい事業	おおむね順調	37
2 スポーツの振興	(1) スポーツ推進事業	おおむね順調	41
	(2) 体育団体等支援事業	順調	42
	(3) スポーツ施設整備事業	おおむね順調	42

第4章 文化の振興

施策	主要事業	評価	頁
1 芸術文化の振興	(1) 文化活動支援事業	—	46
	(2) 文化協会支援事業	おおむね順調	46
	(3) 相馬御風顕彰事業	おおむね順調	46
	(4) 美術展覧会事業	おおむね順調	46
	(5) 鑑賞推進事業	おおむね順調	47

	(6) 文化ホール施設改修事業	遅れている	47
2 歴史・文化の継承と活用	(1) 国指定文化財整備事業	—	51
	(2) 埋蔵文化財発掘調査事業	順調	51
	(3) 埋蔵文化財保存・活用事業	—	51
	(4) 文化財保護事業	順調	51
	(5) 博物館活動推進事業	順調	52
	(6) 博物館整備事業	順調	52
	(7) フォッサマグナパーク整備事業	順調	52